

## 2024年度第2回札幌競馬特別レース名解説

### <第1日>

#### ○ 石狩特別

石狩(いしかり)は、石狩川河口にある北海道中西部の市。また、北海道にあった旧国名。サケなどの漁業が盛んで、サケの身やアラを用いた郷土料理である石狩鍋が有名。

#### ○ 日高特別

日高(ひだか)は、北海道の旧国名のひとつ。現在の日高振興局管内に相当する。国内有数の軽種馬生産地として世界的にも知られている。管内の浦河町には、JRAの競走馬育成調教施設である日高育成牧場があり、同牧場では育成調教技術の普及に努めている。育成された競走馬は主にJRAブリーズアップセールで売却され、JRA育成馬としてデビューする。

#### ○ 報知杯大雪ハンデキャップ

大雪山(だいせつざん)は、北海道中央部の火山群。御鉢平(おはちだいら)カルデラを囲み、最高峰の旭岳・北鎮岳・白雲岳などから成る。日本一早い紅葉の名所として知られ、9月から見頃を迎える。

報知新聞社は、東京と大阪に本社を置く新聞社。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

### <第2日>

#### ○ コスモス賞

コスモス(Cosmos)は、キク科の春蒔き一年草。メキシコを主とした熱帯アメリカ原産で、日本には明治時代に伝わったとされる。和名は秋桜(アキザクラ)。花色は白・桃・紅色などで、夏前に咲く早咲き種などの園芸品種もある。花言葉は「乙女の真心」「美麗」。

#### ○ 桑園駅開業100周年記念 桑園特別

本競走は、桑園駅開業100周年を記念して実施される。

桑園(そうえん)は、札幌市のほぼ中心部に位置する地区。北部には札幌競馬場、南部には知事公館や道立近代美術館などがある。

桑園駅は札幌競馬場の最寄り駅であることから、「JRA札幌競馬場前」という副駅名がついている。2024年3月のダイヤ改正により快速エアポートが桑園駅に停車するようになり、各方面から札幌競馬場へのアクセスが向上した。

### ○ 藻岩山特別

藻岩山（もいわやま）は、札幌市南区にある標高 531m の山。山頂展望台からは、2015 年に日本新三大夜景に認定された札幌市を一望でき、360 度の大パノラマが広がっている。また、札幌競馬場の屋上テラス席「もいわテラス」から藻岩山を望むことができる。

### ○ UHB 賞

UHB は、札幌市に本社を置く北海道文化放送の略称。1972 年開局で、FNS（フジテレビ）系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

## <第 3 日>

### ○ 千歳特別

千歳（ちとせ）は、北海道の中南部、石狩平野南端の市。市の中央部には新千歳空港が、西部には支笏洞爺国立公園がある。

### ○ 富良野特別

富良野（ふらの）は、北海道中央部の市。観光産業が盛んで、特にラベンダーが有名。夏には、見渡す限り一面のラベンダー畑を楽しむことができる。

### ○ 札幌日刊スポーツ杯

日刊スポーツは、日刊スポーツ新聞社より発行されているスポーツ紙。本競走は、同紙の北海道版を発行している、北海道日刊スポーツ新聞社より寄贈賞を受けて実施されている。

## <第 4 日>

### ○ クローバー賞

クローバー（Clover）は、ヨーロッパ原産のマメ科の一年草または多年草の総称。四つ葉のものは幸福のシンボルとされ、五つ葉は金銭の幸福を、六つ葉は地位・名声を手に入れる幸福を、七つ葉は無限の幸福を意味するといわれる。四つ葉の花言葉は「幸福」「私のものになって」。

### ○ 大通公園特別

大通公園（おどおりこうえん）は、札幌市の中心部に位置する公園。「さっぽろ雪まつり」や「さっぽろ夏まつり」の会場として市民や観光客に親しまれている。

## ○ 知床特別

知床(しれとこ)は、北海道北東部、オホーツク海に突出する半島およびその一帯。名は、アイヌ語の「シリエトク(地の果て)」に由来する。2005年に半島とその沿岸海域がユネスコの世界自然遺産に登録されている。

## ○ サマー2000シリーズ札幌記念(GⅡ)

全5戦で実施されるサマー2000シリーズの第4戦。

本競走は、1965年に創設された重賞競走。1969年以降、3歳以上のダート2000m、ハンデキャップ競走として実施されていたが、芝コースの新設により、1990年から芝2000mに変更された。1997年にはGⅡへ格上げされ、札幌と函館の開催日割が入れ替わったことに伴い、実施時期が6月から8月に移され、負担重量が別定重量となった。2006年には負担重量が定量に改められ、現在に至る。

## <第5日>

### ○ ルスツ特別

ルスツ(留寿都)は、北海道南西部の村。名は、アイヌ語の「ル・スツ(道が山のふもとにある)」に由来する。遊園地・ゴルフ場・スキー場などを備えたルスツリゾートが有名。

### ○ ニセコ特別

ニセコは、北海道西部の地名。ニセコアンヌプリの南、羊蹄山の西側の地域を指す。世界でも有数のスキーリゾート地で、海外からも多くの観光客が訪れる。

## <第6日>

### ○ 小樽特別

小樽(おたる)は、北海道西部石狩湾に臨む市。名は、アイヌ語の「オタオルナイ(砂浜の中の川)」に由来する。現在は、大正時代に完成した小樽運河やその両岸に並ぶ煉瓦の倉庫がレトロな雰囲気を出しており、多くの観光客が訪れる。

### ○ サマースプリントシリーズキーンランドカップ（GⅢ）

全6戦で実施されるサマースプリントシリーズの第5戦。

本競走は、1996年にオープン特別競走として創設され、競走条件や距離の変更を経て、2006年にGⅢとして格付けされた重賞競走。

なお、第1着馬には同年の『スプリンターズステークス』への優先出走権が与えられる。

キーンランド競馬場は、アメリカ合衆国ケンタッキー州レキシントンにある競馬場で、周辺は馬産地として世界的に有名。同競馬場では競馬開催のほか、年数回サラブレッドのセリ市も行われている。

## <第7日>

### ○ インディアトロフィー

インドは、南アジア、インド半島の大部分を占める共和国。首都ニューデリー。同国における競馬は、1777年に英軍将校がアラブ種に騎乗して行われたことが始まりとされており、現在は6つのターフクラブがそれぞれの地域における競馬を統括している。日本との交流は、1968年に種牡馬としてハクチカラ号を寄贈したことに始まり、第1回『ジャパンカップ』には同国からオウンオピニオン号が出走している。

### ○ アジア競馬連盟トロフィー

本競走は、アジア競馬連盟が主催する第40回アジア競馬会議が本年8月27日から9月1日にかけて札幌で開催されるのに合わせて実施される。

アジア競馬連盟は、アジア、オセアニア、アフリカ、中東の29の国・地域の競馬統括機関と関連団体から構成された地域連盟であり、我が国は副会長国を務めている。

### ○ 農林水産省賞典札幌2歳ステークス（GⅢ）

本競走は、『北海道3歳ステークス』の名称で1966年に創設された重賞競走。1983年に『札幌3歳ステークス』に改称したのち、2001年の馬齢表記の国際基準化に伴い、現在の名称に改められた。当初は、ダート1200mの競走として実施されていたが、芝コースの新設により芝1200mに変更され、1997年には距離が1800mに延伸された。

### ○ マレーシアカップ

マレーシアは、東南アジア、マレー半島南部とボルネオ島北部を占める連邦制の国。首都クアラルンプール。同国では、19世紀後半にシンガポールと一体で競馬が行われるようになった。その後、1864年にペナン、1886年にペラ、1896年にセランゴールの3つのターフクラブが設立された。

## <第8日>

### ○ シンガポールターフクラブ賞

シンガポールは、東南アジア、マレー半島先端付近の島々からなる共和国。都市国家。

シンガポールターフクラブは、1842年に設立された競馬統括団体。1933年にブキティマに競馬場を開場した後、1999年に克蘭ジに移転し現在に至っている。

なお、シンガポール競馬は本年10月5日(土)をもってその歴史に幕を閉じることが発表されている。

### ○ フィリピントロフィー

フィリピンは、東南アジア、フィリピン諸島を占める共和国。首都マニラ。同国における競馬は、1867年にマニラジョッキークラブが結成されたことに始まる。

現在は、大統領府所管組織であるフィリピンレーシングコミッションの監督の下、2013年に設立されたメトロマニラターフクラブが競馬を開催している。

### ○ タイランドカップ

タイは、インドシナ半島中央部を占める王国。首都バンコク。同国における競馬は、1892年にバンコクで行われた開催が始まりとされる。現在は、1901年設立のロイヤルバンコクスポーツクラブによって競馬開催が実施されている。